

岩手県立大学 平成 26 年度卒業年次生

学生生活アンケート

調査結果（抜粋）報告書

平成 27（2015）年 3 月

目次

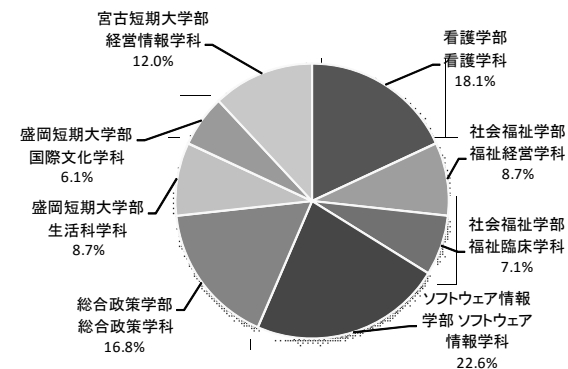
1. 調査の概要	1
2. 調査結果の要約	2

1. 調査の概要

- ①実施時期： 平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 2 月 25 日
- ②対象者： 岩手県立大学、盛岡短期大学部、宮古短期大学部
平成 26 年度卒業年次生（667 名）
- ③回答者： 393 件（回収率：58.9%）
- ④回答者内訳：

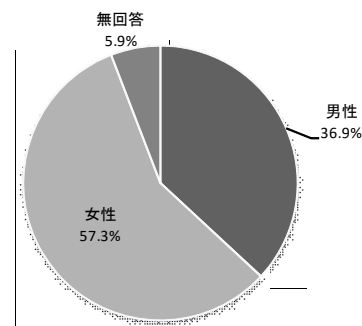
1. 所属

1. 看護学部 看護学科	71 (18.1)
2. 社会福祉学部 福祉経営学科	34 (8.7)
3. 社会福祉学部 福祉臨床学科	28 (7.1)
4. ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科	89 (22.6)
5. 総合政策学部 総合政策学科	66 (16.8)
6. 盛岡短期大学部 生活科学学科	34 (8.7)
7. 盛岡短期大学部 国際文化学科	24 (6.1)
8. 宮古短期大学部 経営情報学科	47 (12.0)
合計	393 (100.0)



2. 性別

1. 男性	145 (36.9)
2. 女性	225 (57.3)
3. 無回答	23 (5.9)
合計	393 (100.0)



2. 調査結果の要約

○学生生活について

- 回答者は、岩手県内の出身者が71.5%。東北6県の出身者が全体の93.6%を占める。
- 1ヶ月の平均収入額は、自宅生は総額64,895円、自宅生以外は総額91,076円であった。過去5年の全体の推移をみると収入合計額は頭打ち、奨学金とアルバイト収入は前年度比で減少傾向にある。
- 学内のサークル活動参加率は70.5%。学内外でのボランティア活動44.5%、学外のクラブ・サークル活動14.0%。
- 学生生活の充実度は、全体の92.4%が「とても充実していた」または「やや充実していた」と回答している。

○教育全般について

- 自ら設定した学習達成目標について、83.4%が「達成できた」または「ほぼ達成できた」と回答している。
- インターンシップ・体験学習の参加率は37.9%、満足度は96.6%となっている。
- 外国語習得のために正課以外で何らか取り組んだ学生の割合は20.6%であった。
- 在学中の海外渡航経験者は17.5%。盛岡短期大学部国際文化学科に海外渡航経験者が多い。
- 教育の仕組みや施設・教育機材、事務室の対応等に関する満足度は、7割弱から9割の範囲で、複数の項目において若干ではあるが低下傾向が見受けられる。

○図書館について

- 図書館の利用頻度は、「週に1～2日」が28.0%で最も多く、次いで「月に1～2日」が22.6%となった。利用目的は、「学習場所として」が81.5%、「図書閲覧・貸出」が75.3%。
- 利用満足度は全体的に高く、特に宮古キャンパスでは、すべての項目で肯定的意見が9割を超えている。満足度が比較的低い項目は、滝沢キャンパスの「開館日・開館時間」「図書・資料の充実度」となっている。

○健康サポートセンター、保健室について

- 利用したことがない者も多いが、利用者の満足度は非常に高く、すべての項目で9割を超えている。

○卒業後の進路、就職活動等について

- 卒業後の進路については、「就職(公務員以外)」が60.8%、「就職(公務員)」が14.2%で全体の75.0%を占める。
- 卒業後の居住予定地は、岩手県が50.6%。岩手県出身者の58.0%が岩手県内への居住を予定している。
- 調査時点の就職予定先または進学先への満足度は80.7%である。
- 就職先を選択する場合に重視する項目は、「仕事内容(やりがい)」、「賃金・賞与」、「労働日数・時間」の順となっている。
- 5社以上の企業訪問・説明会に参加した学生は49.8%で、内定企業数は71.4%が「1社のみ」。
- 岩手県出身者で岩手県以外の都道府県に就職等を予定している者のうち、「将来、岩手県内へUターンすることを考えている」と回答した割合は、13.7%となっている。
- 卒業生に対し、母校から提供して欲しいサービスは、「求人情報等の提供」、「地元への転職等の相談への対応」の順となっている。
- 就職支援サービスについて、利用したことがある者の満足度は項目ごとに若干の差異があるが、概ね8割～9割となっている。

○大学への要望等

- 自由記述では、教育内容や学生支援、施設・環境に関する要望や、これまでのサポートに対する感謝など、多くの回答があった。

以上